

東京外環
(関越～東名)

GAIKAN

2004年9月

外環journal

ジャーナル

第16号

(発行所)国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所

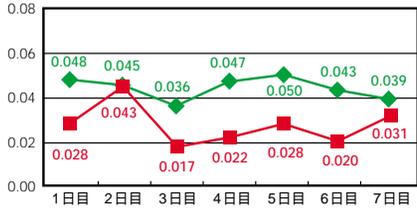
〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7F TEL/FAX 03-3707-1491 (外環専用ダイヤル)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

二酸化窒素(NO₂)

練馬区目白通り

単位(ppm)



— 冬季 (1月16日～22日)
— 春季 (4月16日～22日)

※観測日毎の値は、1日(24時間)の時間別観測値を平均して算出した値です。

二酸化窒素(NO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)について、20箇所での観測を行っています。その他にも気象、粉じん等について観測を行っています。



大気観測状況(目白通り)

大気質等 NO₂、SPMを 20箇所観測

国土交通省と東京都は、東京外かく環状道路計画沿線の環境の現況を詳しく把握するため、環境の現地調査を平成16年1月から実施しています。調査は、原則として四季毎に行い、大気質、地質、地下水、動物、植物等について実施しており、これまでに冬季・春季の調査が終了しています。調査結果の詳細はホームページ等で公表しています。

夏季・秋季と引き続き調査を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

外環沿線7区市の大気環境、地質の状況、動植物などを調査

環境の現地調査結果(冬季・春季)

地質、地下水 47地点、64箇所 ボーリング調査

計画沿線の周辺の地形や地質の分布状況、地盤の固さ及び水の通しやすさなどを確認するために、平成16年1月中旬から47地点64箇所のボーリング調査を行いました。



地質調査の状況(杉並区善福寺公園)

地質

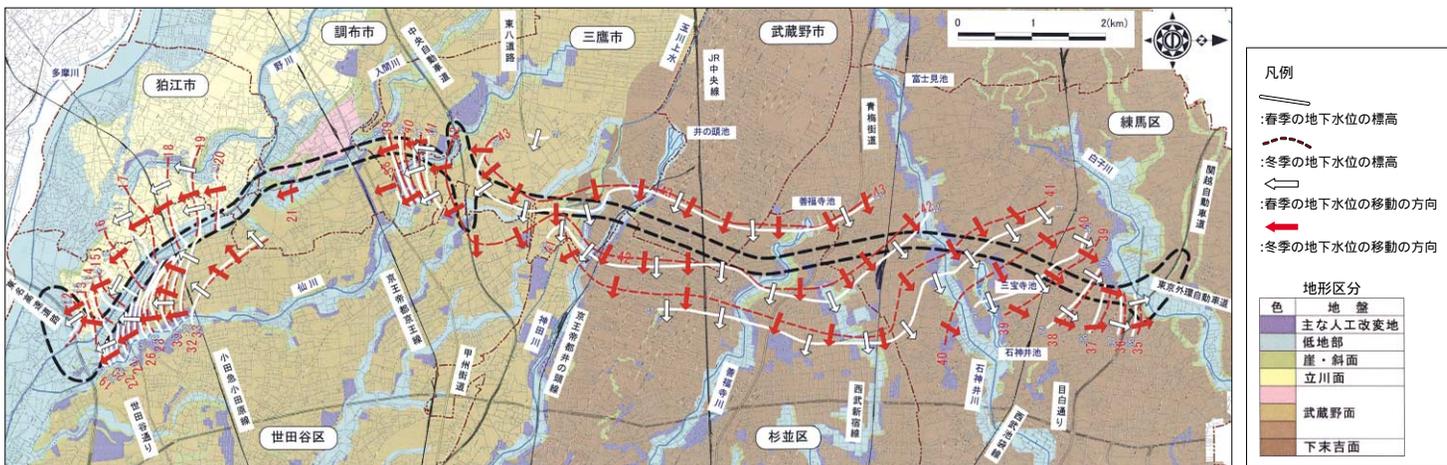
地下水

ボーリング調査孔を活用し、47地点において浅層地下水、深層地下水について年間を通じて水位観測を行っています。



地下水位の自動観測データ回収

浅層地下水の移動方向等



※ 標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。本地図は、東京都デジタルマッピング地形図を使用しています。

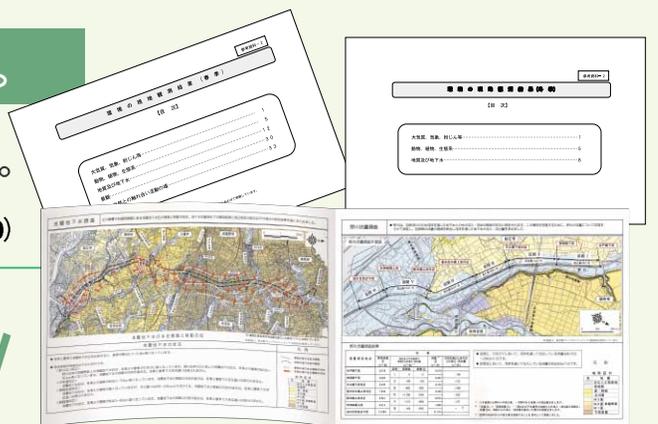
環境の現地観測結果の詳細を公表しています。

観測結果の詳細、資料の請求は、外環調査事務所へお問い合わせ下さい。

TEL&FAX フリーダイヤル **0120-34-1491** (平日9:15~17:30)

また、ホームページでもご覧いただけます。

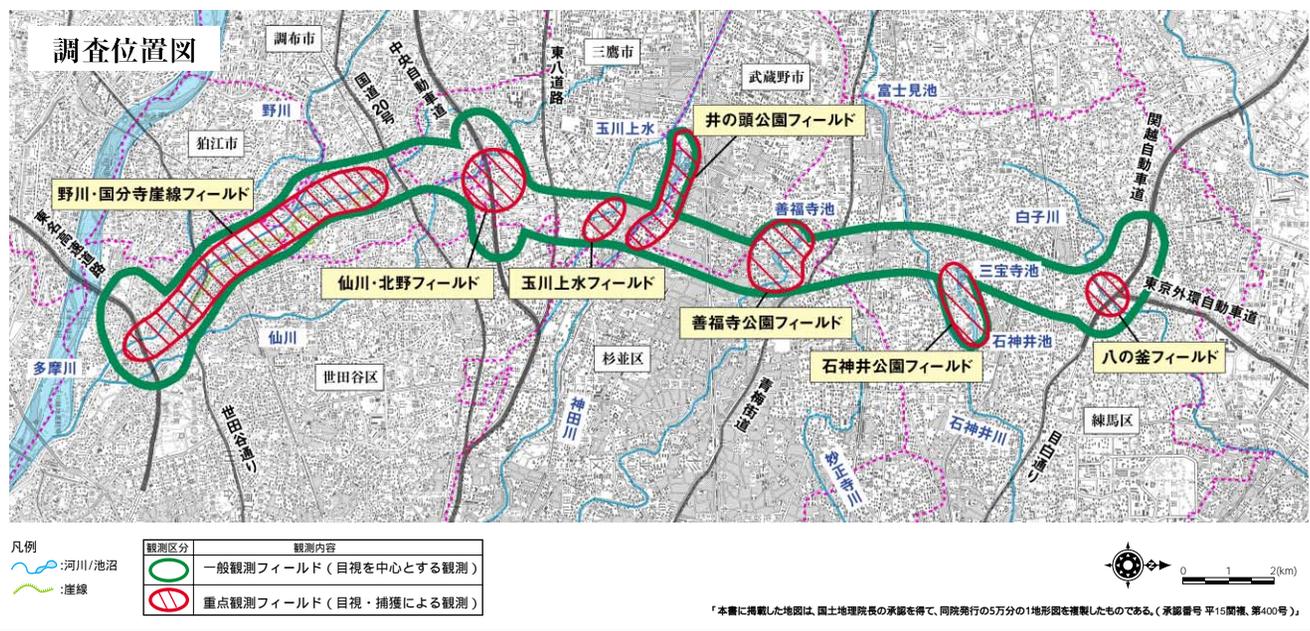
<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>



動物、植物、生態系 目視と捕獲によって調査

計画沿線の周辺(概ね片側250mの範囲)にどのような種類の鳥や魚、昆虫等の動物が生息し、どのような植物が生育しているのか、季節毎に調査を行っている。調査は目視を中心とする。

目視、捕獲による調査を行っている。



魚類調査 (世田谷区野川) コイ



植物相調査 (三鷹市玉川上水)



鳥類調査 (三鷹市井の頭池) オナガガモ

その他

その他、景観、人と自然との触れあい活動の場の調査を行っています。今後、騒音・振動、電波障害、日照障害、史跡・文化財等の調査を予定しています。

～PI外環沿線協議会・地域毎の話し合い・オープンハウス～

PI外環沿線協議会 議論の整理を開始

第31回から第39回の9回のPI協議会では、主に必要性の有無(効果と影響)、練馬の問題、議論の整理(とりまとめ)等について議論が行われました。

必要性の有無(効果と影響)については、効果、交通政策のほか、地域交通への効果について意見が出されました。また、外環の必要性を議論するにあたり、東京都の都市づくり、交通政策、TDM等についても考慮すべきとの意見が出され、都からこれらの取り組みに関して説明がありました。

練馬の問題については、外環道と関越道が練馬で止まっていることで、周辺道路におけるさまざまな交通問題が発生しており、このことは今後外環を整備する場合は、他の地域でも参考になることから重点的に議論が行われました。

具体的な意見として、「練馬の交通渋滞は、中途半端な高速道路ネットワークの整備と、高速道路の整備と合わせて必要になる周辺交通基盤の整備が行われなかったことが原因ではないか」、「練馬の問題を抜本的に解決するために、外環道の整備が有効ではないか」といった意見が出されました。

また、練馬区が外環(埼玉県境(大泉)の受け入れの際(昭和60年)に、練馬の渋滞や生活道路への車両の進入対策として練馬区から出された「外環に関する21項目の条件」とその対応状況などについて意見が交換されました。

さらに、練馬問題の状況の検証により、今後、外環道の整備を行う地区では、外環道の整備と同時に、あるいは外環の整備を総合的な「まちづくり」の観点から行うことが不可欠であるといったこと等について意見交換がされました。

PI協議会では、外環の必要性(効果と影響)などについての議論を踏まえ、これまでに確認されたことや共通認識となったこと、課題が残されていることなどについて、協議会での議論を整理しておく必要があるとされました。

議論の整理(とりまとめ)は、PI協議会では、これまで確認されたことや共通認識となったこと、課題が残されていることなどについて、協議会での議論を整理しておく必要があるとされました。

また、第33回PI協議会にて、地域の抱える課題について話し合う「地域毎の話し合い」を行うこととされ、沿線区市で開催されています。

「地域毎の話し合い」を開催

第33回PI協議会で運営懇談会から提案された地域毎の話し合いが、5月から沿線区市で開催されています。話し合いの概要は、PI協議会資料で公開しています。

区市	日付	会場
三鷹市	5月24日(月)	三鷹市役所 (現時点では協議員のみ)
	6月28日(月)	
	7月30日(金)	
杉並区	5月28日(金)	西荻地区区民センター
	5月31日(月)	
武蔵野市	7月1日(木)	武蔵野商工会館
世田谷区	7月3日(土)	喜多見東地区会館
練馬区	7月30日(金)	練馬区役所
狛江市	8月7日(土)	谷戸橋地区センター
調布市	8月3日(火)	調布市役所 (現時点では協議員のみ)
	8月27日(金)	



杉並区西荻地区区民センター (5月28日)

情報提供して対話する「オープンハウス」

世田谷区(7月)、狛江市(8月)で開催

PI協議会、地元区市、国土交通省、東京都が共催する「オープンハウス」が、平成15年6月から沿線7区市で30回開催されており、約2600名の方にご来場いただいております。

オープンハウスでは、行政の担当者や地元の協議員が外環に関して説明を行うほか、ご来場者の疑問や相談に個別に応じています。オープンハウスの開催状況については、ホームページをご覧ください。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>



世田谷区喜多見東地区会館 (7月3日)



狛江市谷戸橋地区センター (8月6日、7日)